

YMFG NEWS RELEASE

2022年11月11日

各位

株式会社 山口フィナンシャルグループ

当社グループにおけるカーボンニュートラル達成に向けた目標設定について

山口フィナンシャルグループ（代表取締役社長CEO 棕梨 敬介）は、グループサステナビリティ方針にもとづいた、地域の発展と未来づくりに向けた事業活動の一環として、地域のカーボンニュートラル※¹実現への取り組みをより一層強化するため、当社グループにおけるCO₂排出量削減目標を下記のとおり設定しましたのでお知らせいたします。

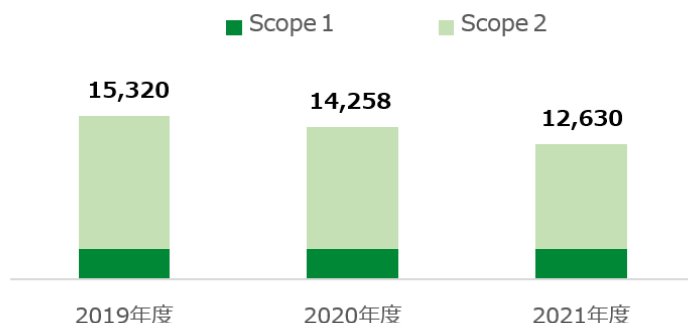
記

1. 背景・目的

当社の主要営業エリアである山口県、広島県および福岡県は全国的に見ても温室効果ガス排出量上位県であることから、地域のカーボンニュートラルは人口減少や後継者不足などとともに地域の最重要課題の一つであると捉え、地域価値向上に向けた事業活動を展開してまいりました。今後は、地域金融グループとして、いち早く当社グループのカーボンニュートラルを達成し、サステナブルファイナンスやCO₂排出量算定支援サービス等によるご支援、多様な民間パートナーとの連携などにより、地域のカーボンニュートラル実現に向けた取り組みをより一層強化してまいります。

2. 目標と実績

2030年度までにCO₂排出量（Scope 1、2※²）ネットゼロ



山口フィナンシャルグループと主要関連会社

（山口銀行、もみじ銀行、北九州銀行、ワイエム証券、ワイエムリース）の合計

当社グループでは、2019年度以降節電などの省エネ活動などにより、着実にCO₂排出量を抑制してまいりました。今年度のサステナビリティ推進委員会において、当社グループにおけるCO₂排出量の分析やネットゼロに向けた実現可能性について検証し、今回当該目標を設定することとしました。

3. 目標達成に向けた取り組み

目標達成に向け、当社グループでは再生可能エネルギー由来の電力の活用、当社保有車両のEV化、LED照明活用の拡大など、目標達成に向けた取り組みを強化してまいります。

4. 山口フィナンシャルグループのマテリアリティ

山口フィナンシャルグループは、持続可能な社会の実現に貢献していくために、「グループサステナビリティ方針」を策定し、この方針に基づき、重点的に取り組むべきESG課題である「マテリアリティ」を特定しております。本件は、12のマテリアリティの中で「⑤省資源・省/創エネルギーへの対応」および「⑥大気汚染・気候変動への対応」に資する取り組みです。

 地域社会・ 経済活性化への 取り組み	①人口減少・少子高齢化への対応 ②地域におけるイノベーション創出、 地域産業の成長サポート ③地域コミュニティとの連携強化 ④商品・サービスの安全性と品質向上	 環境保全への 取り組み	⑤省資源・省/創エネルギーへの対応 ⑥大気汚染・気候変動への対応 ⑦環境に配慮した商品・サービス開発
 役職員全員の 働きがいへの 取り組み	⑧人材育成・研修機会の創出 ⑨安心・安全な労働環境作り ⑩多様な人材の活躍 (ダイバーシティ&インクルージョン)	 強固な 経営基盤づくり への取り組み	⑪ガバナンス体制・内部統制の強化 ⑫経営の透明性向上と説明責任

※1 カーボンニュートラル：温室効果ガスの排出量と吸収量を均衡させること（ネットゼロ）

※2 Scope1：事業者自らによる温室効果ガスの直接排出

Scope2：他社から供給された電気、熱・蒸気の使用に伴う間接排出

以 上

【本件に関するお問合せ先】

山口フィナンシャルグループ 人財支援部
田中 TEL：(082) 258-6203
若戎 TEL：(082) 258-9197